

会 議 録

1 会議名

平成26年度 第2回頸城区地域協議会

2 議題（公開）

協議

協議事項

○平成26年度頸城区地域活動支援事業について

（第2回提案事業プレゼンテーション）

報告

報告事項

○新クリーンセンターの建設について

その他

○2014えちご・くびき野100kmマラソン開催概要について

○市指定避難所の見直しについて

3 開催日時

平成26年4月30日（水）午後6時から午後8時まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員： 磯貝雄一、井部洵子、井部辰男、今井一郎、小田武彦、笠原昇治、春日賢正
佐野喜治、高木とき子、高橋勇、西條春一、橋本博太、樋口美登里
水澤伊一、横山一雄（委員18人中15人出席）
- ・事務局：（自治・市民環境部）連携調整室 三浦副室長
生活環境課 川上副課長
（都市整備部）都市整備課 佐藤副課長

(農林水産部) 農業振興課 佐藤課長

(産業観光部) 産業振興課 米持課長

(総合事務所) 布施所長、関次長、牛木市民生活・福祉グループ長、篠原
教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ渡邊班長、山崎主任
藤澤班長、小池主任 (以下グループ長はG長と表記)

8 発言の内容

【関次長】

皆さんお疲れ様です。時間になりましたので、只今から平成26年度第2回頸城区地域協議会を開催します。

本日の追加資料として資料2を配布させていただきました。後ほど生活環境課よりクリーンセンターの関係で説明がございます。資料3は100kmマラソンの開催概要関係、資料4は避難所の見直し関係についての資料を用意させていただきました。次第につきましては、今日机の上に置かせていただきました。

それでは、最初に会長からご挨拶いただきます。

【井部会長】

ご苦労様です。早いもので、4月も今日で過ぎようとしています。田んぼのほうも今日から本水が入ってきておりまして、代掻きも順調に進んでいるようであります。そういう面で今日は、本当にお忙しい中ご参集いただきましてありがとうございます。前回に引き続いて地域活動支援事業のプレゼンテーションを行い、その後、全員協議会として勉強会を進めていって、具体的な点数等の付け方について皆さんと協議をしたいと思います。長丁場になりますがどうぞよろしくお願いいたします。

【関次長】

本日は5番 上村委員、10番 関川委員、14番 芳賀委員から欠席の届けが出ています。上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席があるので、会議が成立していることを報告いたします。本日の会議録の確認は、11番 高木委員と12番 高橋委員になるのでお願いいたします。

それでは、地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長から議長を務めていただくのでよろしくお願い致します。

【井部会長】

次第によって進めてまいりたいと思います。前回に引き続いて平成26年度頸城区

地域支援事業についての審査を行います。第1回地域協議会では12団体13件のプレゼンテーションを受けました。本日は第2回のプレゼンテーションとして、8団体9事業のプレゼンテーションを受けていきたいと思っております。進め方については第1回と同様ですが、簡単にもう1回説明してください。

【藤澤班長】

それでは、私の方から、プレゼンテーションの進め方についてご説明いたします。プレゼンテーションは、提案書の受け付け順で行います。前回13番目迄ですので、今回は通して14番目からということになります。各事業1件あたりのプレゼンテーションの時間は7分以内で、残り時間1分前に合図をいたします。提案者等からは、提案事業の概要や共通審査項目の中で特に重要視した点等について発表していただきます。発表いただいた後、皆さんと提案団体で事業に対する質疑を行っていただきます。質問等は5分以内となっております。以下、其々の提案者別に同様のプレゼンテーションの順序となります。

なお、繰り返しになりますが、委員の皆様におかれまして、提案事業の利害関係者であるとの理由等で審査を辞退される場合は、事業ごとに会長から辞退の有無について、問いかけていただきますので、手上げ方式でお願いいたします。また、辞退・退席後の控室は、隣の201会議室を用意してございます。当該事業のプレゼンテーション・審査が終了しましたら辞退された委員さんは、この203会議室に戻っていただきます。

なお、先日の第1回協議会でもお話がありましたが、プレゼンテーションは、公平に行うという観点から、基本的に提出書類を基に実施することということで確認させていただきたいと思っております。

以上、プレゼンテーションの順序等の説明を終わります。

【井部会長】

前回と同様の進め方でいきたいと思っておりますし、今日は前回指摘がありました提案書に付随する書類についてすべて用意をさせていただきました。それを基にご審議いただきたいと思っております。ご意見ございませんか。よろしいですか。

それでは、前回に引き続いてプレゼンテーションを始めます。

安全安心なまちづくり等として提案されました、大柳集落開発センター前駐車場舗装工事事業についての審査を開始します。資料は15番になります。今回初めての提

案になります。

大柳集落開発センター前駐車場舗装工事業の審査から辞退される委員の方については退席をお願いします。(佐野委員辞退)

大柳町内会の皆さん、事業の概要や共通審査項目の中で、特に重要視した点等について7分以内で発表をお願いします。

【提案団体】

大柳町内会の方から駐車場の舗装工事と屋外掲示板の更新ということで2件続けて発表させていただきます。よろしくをお願いします。

事業の名称としまして、大柳集落開発センター前駐車場舗装工事業です。団体等の概要で、大柳地区の地域的な共同活動を行うことにより、会員相互の親睦と福祉を増進し、信頼と友愛の精神に基づき住み良い郷土をつくと共に民主的自治及び地域社会の向上発展を図る事を目的とします。今回提案しました活動分野ですが、保健、医療又は福祉の増進を図る活動、まちづくりの推進を図る活動、環境の保全を図る活動、地域の安全を図る活動、子どもの健全育成を図る活動ということが該当すると思っています。町内会の設立年月日は、平成18年4月です。構成員数(戸数)は35戸です。直近の収入額で85万円、支出の部で85万円です。平成25年4月1日から26年3月31日までの実績であります。団体等の沿革ですが、平成17年1月1日上越市に編入合併を行いまして、平成18年4月1日より従来の自治会活動を継承し、大柳町内会を発足しています。以降、大柳地区の活性化に関わる様々な事業を実施しています。事業の概要ですが、今回の事業については、主体は町内会で行います。事業費等は見積金額では186万6,240円、補助金の希望額としまして186万6千円という形で考えています。事業の目的ですが、集落センターの駐車場は平成元年に集落センターを造った時に一緒に舗装工事を実施しております。今25年を経過いたしました。現在の状況は、非常に弱い地盤の所に舗装工事を施したために、駐車エリア全体にデコボコが激しく危険な状態であります。昨年防災訓練を実施した時に、足の不自由な方がへこみ部分に足を取られ転倒した事故がありました。その時は、大した事はなかったのですがそういう事故がありました。現在の駐車場の活用としまして、防災訓練を年1回実施しております。ここは、災害時の第1避難所にも指定されています。防災訓練の時は、初期消火訓練、テントの組立訓練、炊出し訓練等年1回行っております。青年会主催の盆踊り大会も年1回行っております。期待効果としま

して、駐車場の舗装工事をするによりまして、地域住民の安全上から見ても非常に有効であると。地域住民の全員参加の体力の増進活動、今の段階では非常に難しい面がありますので、今後はそういったことも取り入れていきたいと思っております。たとえば、子どもたちの夏休み期間中のラジオ体操等どうかと考えています。対象は小学生から後期高齢者までという形で考えております。採択の方針等の整合ですが、頸城区の採択方針3つに該当するものと思っております。事業の内容及び実施方法ですが、書いてあります通り（2）の事業実施方法で工事の内容は、今の地盤を入れ替えてアスファルト工事にします。写真を貼り付けておきましたので後で確認ください。スケジュールとしまして、6月位から10月末位のスケジュールでどうかと考えています。

【井部会長】

時間になりました。ありがとうございました。それでは提案に対して質問のある委員の方の発言を求めます。

【水澤委員】

駐車場の工事の内容を見ると、全面的な舗装工事という形で、提案書に付いている写真を見させてもらおうと、そんなにデコボコも見えないようですが、その部分だけの補修工事というわけにはいかないのですか。

【提案団体】

それも考えたのですが、全体がこの様になっておりますので、部分的な補修をやっても無駄になってしまうと。地盤自体が相当痛んでいますので、そこを切って切り貼りをしたような形をとっても、おそらく近い将来駄目になってしまうと思ひまして、全体の工事で提案させていただきました。

【春日委員】

駐車場という形で提案されているようですが、会館の広場は駐車場を利用しながら多目的に利用する駐車場という意味ですか。駐車場だけ立派にしても車が何台止められるのか。写真を部分的にデコボコが分かるように局部を撮るといような方法も考えたほうが良いのではないのでしょうか。本当に必要であるのなら。今の段階では、他の町内会も砂利のところもありますし、我慢してやっているところもあります。

【提案団体】

色々な防災訓練とか、ここは第1避難所の指定にもなっており、駐車場もそうです

がそういった用途にも使っております。

【井部会長】

他にありませんか。無いようであります。プレゼンテーション14番目については終わります。

引き続き、プレゼンテーション15番目、教育・文化・スポーツ活動の振興等として提案された大柳集落開発センター野外掲示板更新事業の審査を開始します。資料は16番目になります。今回初めての提案になります。退席委員は既に退席をしておりますので、大柳町内会の皆さんは、事業の概要や共通審査項目の中で、特に重要視した点等について7分以内で発表をお願いします。

【提案団体】

提案の2件目です。大柳集落開発センターの屋外掲示板の更新事業です。活動分野としまして、社会教育の推進を図る活動、まちづくりの推進を図る活動、環境の保全を図る活動、地域の安全を図る活動、子どもの健全育成を図る活動、情報化社会の発展を図る活動という形に考えております。事業の内容としまして、事業費は21万9,240円、補助金額の希望は21万9千円という形で考えております。事業の目的ですが、大柳町内の掲示板は集落センター駐車場北側に設置しておりますけれども、現在の状況として非常に老朽化が激しい。風等で貼り付けても飛んで行ってしまう。現在は玄関のガラス・壁等に掲示しています。期待する効果として設置場所は、市道に面しております、掲示物が見やすく内容が住民に行き渡る。防犯・防災、ボランティア等のポスターの掲示が可能になり、有効活用が図られる。雨風等での掲示物の飛散等がなくなり、環境対策に有効であるというふうに考えております。事業の内容ですが、事業の対象者は、大柳地区の住民。事業の実施方法として、屋外掲示板、これは業者から納入のみとする。掲示板の基礎工事や設置工事は舗装業者が担当するという形で考えております。写真は現在の掲示板の写真です。スケジュールとして、6月から7月に納入業者との打合せを行いまして、8月以降に設置をしたいという予定で考えています。次に、見積り等の金額が書いてありますが、地域活動支援事業21万9千円、町内会一般会計で240円、トータルで21万9,240円です。支出の部として、屋外掲示板・本体と掲示板の基礎工事を含めて21万9,240円という形で考えております。これを是非ともお願いをして、より良い方向に持っていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。以上でございます。

【井部会長】

ありがとうございました。それでは、提案に対して質問のある委員の方の発言を求めます。

ございませんか。無いようであります。以上でプレゼンテーション15番目を終わります。大柳町内会の皆さん大変お疲れさまでした。ご退席ください。

引き続き、プレゼンテーション16番目、地域特性を活かしたまちづくりとして提案された「明治村歌」伝承事業についての審査を開始します。資料は17番目になります。今回で2回目の提案になります。

「明治村歌」伝承事業の審査から辞退される委員の方は退席をお願いします。

公民館明治分館協議会の皆さん、事業の概要や共通審査項目の中で、特に重要視した点等について7分以内で発表をお願いします。

【提案団体】

昨年「明治村歌」の横額縁が修復し洗濯され、「明治村歌」横額縁は10月末に里帰りいたしました。運良く11月の希望館での文化祭に希望館のロビーに提示していただきまして、明治地区の皆さん方から特に良くやっただきましたということで、感謝のお言葉を頂戴しております。また、昨年の追加募集に申請した際にこの場で助言をいただいたことですが、明治地区村歌は明治分館協議会のものでなく、15町内の物ですというご助言をいただきました。それを認識しながら11月30日に横額縁並びに「明治村歌」のお披露目式を開催しました。講師には、東分館内から1名、南分館内から1名、明治分館内から2名ということで気配りをしながら4名様に講師をお願いして、お披露目をさせていただきました。明治地区は15町内でありますので、1町内から2名様代表と、その他に各立場での来賓を招待しながら40名余の式典と「明治村歌」を斉唱したところであります。その時に講師の方々から、我々はいつまでも歌い続けるわけにはいかないと、皆さん歌のできる方は80歳代になっているわけです。もう一度、録音テープ等に残しておかないと我々も駄目になるというお話でありましたし、それを聞いていた明治分館協議会の顧問の方が、その楽譜を起こすところを知っているということで、十日町の方をお世話いただきました。天を掴む気持ちで十日町に飛んで行きまして、そのことをお願いしたら、快くしていただけるという話であります。色々前後の事情も話をしながら帰ってまいりまして、上越市西城町のパーツプロダクションに話をもち掛けまして、支援事業でCDに残したいというこ

とでお願いしました。プロダクションの方もお披露目した時のテープと十日町から取った楽譜で再生出来るでしょうというお返事をいただきました。これに採択いただければ、そのようにしていきたいと思っていますところです。

また、この話から糸魚川の観光協会からも相馬御風（明治村歌作詞者）さんの130周年記念等のことで問合せがありました。経緯はどうだったのかというお話がありましたので、そのように対応しました。今日偶然、新潟日報の方から問合せがありました。93歳の方で施設に入居されている方なのですが、「明治村歌」のことを聞いたから是非「明治村歌」のCDを送っていただけないかという話です。「実は、今日プレゼンテーションがありますので、そこで発表してくるわけなのです」と言ったら、新潟日報の方から是非頑張ってきてくださいと言われ、勇んで参ったところがあります。そんなことで伝承事業としてやってまいりました。

そして、2月23日明治分館協議会では、園児・児童の進級祝いに餅つき大会をしております。その時に80歳の方の講師二人お招きしまして、全員で53名でしたが斉唱しているところでもあります。聞くところによると、明治小学校の40周年記念にも実行委員の方たちが、そういうこともいいものだ、広めることが大事ではないかということでお話をいただきました。よろしく願いいたします。

【井部会長】

ありがとうございました。それでは提案に対して質問のある委員の方の発言を求めます。

ございませんか。無いようであります。公民館明治分館協議会の皆さん大変お疲れさまでした。ご退席ください。

次に、プレゼンテーション17番目、教育・文化・スポーツ活動の振興として提案された、地域活性化事業（こども神輿更新）についての審査を開始します。資料は18番目になります。今回初めての提案であります。

地域活性化事業の審査から辞退される委員はご退席お願いします。

西部子供会・育成会の皆さん、事業の概要や共通審査項目の中で、特に重要視した点等について7分以内で発表をお願いします。

【提案団体】

当子供会は子どもたちの積極的な参加、積極的な活動に重点をおいて活動しております。活動内容といたしましては、夏・冬のレクリエーション、地域の廃品回

収及び蛍ロードの清掃等を行っております。当子供会の収入につきましては、各町内会様からの助成、振興会さんからの助成、会員様からの助成などをいただきまして運営しております。今回、御神輿の購入の件ですが、子供たちの希望と活動の更なる活性化を目的として購入を考えております。西部子供会としては、今まで色々な行事を行う中で、地域の町内会の皆さんとより親密な関係を作るために色々積極参加をさせていただいている中で、今回出させていただいている神輿の更新につきましては、毎年7月に西部振興会さんが主体となって行っております西部納涼会がございます。そこで子供会の子供たち65人、参加者と親御さん、各役員さんの手で6町内を神輿で巡行いたしまして、皆様とふれあうものを企画して運営しております。その後、納涼会では夜店も子供会で運営して納涼会を盛り上げさせていただいているというような格好です。今回の神輿につきましては、20数年前にその当時の役員さんが苦勞いたしまして、中古の部品を色々かき集めて作った神輿でございまして、さすがに20何年経つとそういうものでは老朽化が出てきて、一部色が剥げてきているところがあり、壊れかけてきているところもあるということで、ここ10数年来は各子供会の役員さん、当時の子供会の子どもたちの悲願としてやっておった状況にはあります。具体的な金額ですが、101万2,640円というものが、地元の企業であります能登仏壇さんから出していただいた見積もりになってございます。そのまま全額お願いするのではなくて、子供会から21万2,640円は用意出来ますのでそれを出させていただいて、申し訳ないのですが80万円のご支援をいただきたいというような格好になっております。ここの中に入れておりますが、各町内会長さんからのご支援を色々いただいている中で、今後西部分館の中に神輿を飾るケースを作っておければ、そういうものも検討し、頸城の祭典で移動の手段の問題もありますが、その辺がクリアになれば頸城の祭典にも出てみたいということと、各町内会長さんからは、各町内会で祭りがあるのでその時に貸し出して、そこで披露するようなことも検討していったほうが良いのではないかというお話もいただいているので、そういうことも取組んでいこうと思っております。色々な行事に利用できればと思っております。それによって年齢層のないと言いますか、子供から大人までみんなが一つになるという大事な部分だと思っておりますが、そういう部分を大事にしていきたいと私ども考えておりますので、何卒よろしく願いいたします。

【井部会長】

ありがとうございました。それでは提案に対して質問のある委員の方の発言を求めます。

【佐野委員】

(6)の次年度以降の活動の見通しということで、頸城区公民館西部分館にいずれ格納といいますか、常設の展示を設けるという表現になっているわけですが、それまでは何処か置ける場所は当然あるわけですね。

【提案団体】

今のところ、松橋の元消防小屋になっていたところがございます、そこにそのまま入れている状態ですが、今度綺麗な新しい神輿をそこに入れて置くのもどうかと思っていますので、それを何とか置く場所が出来ればそちらに移動したいし、もし出来なければきちんと鍵が掛かるような状態にして置かないと、どこかに持って行かれたら大変ですので、非常に大事なものだという認識のもとでこういう内容にさせていただきました。

【佐野委員】

(8)支出の部で神輿購入費101万2,640円と1行だけですが、見積もり書を我々見ていないので、恐縮ですが簡単にその中身を説明していただけるようであればお願いしたいと思います。

【提案団体】

一応、内容的には見積もり添付しておりますが、神輿が70万、神輿はずっと担いで進めないで、その台車がございます。神輿に似合う素晴らしい塗装がされているのですがそれが24万1,500円、うちわが老朽化して振れないような状態ですので、きちんとしたものを同時に購入させていただくのが51,700円、送料他諸経費が19,440円、合計で101万2,640円ということになっています。

【井部会長】

他にございますか。

【樋口委員】

今も言われているとおり、頸城の祭典の時、子ども神輿は百間町だけなのです。採択されて通った場合、是非参加していただきたいと思います。良く検討してみてください

ください。

【磯貝委員】

個人的は大変良いことだと思っています。私も地元でこういうことをやっています。神輿が老朽化してきてそれを修復する。これは各町内多かれ少なかれ大小色々ありますが、恐らくそういう問題が今後も出てくると思います。頸城の祭典に何故参加しないのですか。神輿が悪いから参加していないのですか。良くなれば参加するのですか。もう1点、子どもたちの服装はどうするのですか。今現在の服装でこれが通ったら来年、勘ぐりかもしれませんけれども半被を買ってくれ、あれを買ってくれ、各町内同じような問題抱えているのです。今後の方針も含めて今の考え方、これでは甘いのではないかと思っています。

【提案団体】

頸城の祭典に出ている、出ていないという話ですが、ウエイト的には移動手段と時期的に家庭サービスで海に行ってしまうとか、諸々の意見が多くて実際行けていないのが現実です。確かに神輿が古いというのもあります。半被は持っています。

【井部会長】

時間になりました。西部子供会育成会の皆さん大変お疲れさまでした。ご退席願います。

次に、プレゼンテーション18番目、地域特性を活かしたまちづくりとして提案された、南引出線敷設替事業の審査を開始します。資料は19番目です。今回の事業は初めての提案となりますが、これまでは関連について6回の提案があります。

南引出線敷設替事業の審査から辞退される委員の方は退席をお願いします。

(笠原委員、樋口委員辞退)

くびきのお宝のこす会の皆さん、事業の概要や共通審査項目の中で、特に重要視した点等について7分以内で発表をお願いします。

【提案団体】

お宝のこす会発足以来10年以上になっておりますが、最初は頸城鉄道のコッペル号が機関庫の中にあった、その1台があったのですが、それを発端として、その後、瀧本邸、榮恩寺の枝垂れ桜ということで、地域おこしのために商工会の仲間を呼びながら発足したのが事実でございます。その後、頸城鉄道の汽車・貨車色々あったわけでございますが、六甲のほうにあったということで、〇〇さんという方が

無償でいいから持って行っていいということで、私たちはそれをお引き受けして現在百間町に戻っております。その時に8両持ってまいりました。コッペルを入れて9体現在ございますが、二回ほど持ってくる時に崩れまして、その1体が「ニフ1」という貨車です。静体保存ではなく動体保存にしたいということで、レールを引きながらDC92を一般公開で動かしてお客さんに喜んでもらっているのが現状でございます。そして、3年ほど前に「ホジ3」も動かしたらどうかということで、市の方の援助を得ましてホジ3も動くようになりました。マニアの方にはコッペルも大変人気があります。ですが、ホジ3のほうが本当の魅力があるようにも聞いております。マニアの方には相当期待が大きかったようでございます。普通のハ6は全長5mくらいしかございません。全長9mのホジ3を走らせるに、200mくらいレールを引いたわけですが、レールのカーブが強すぎてホジ3が走れない、非常に危険だというようなことで、そのホジ3が走るのですが、レールのカーブをもう少し緩やかにしないと走れない状態でございます。ですが今、そのホジ3は、非常に人気がよくマニアの方、国鉄のバスで土日になりますとこちらの方へ清津峡から十日町、コッペルを見ながら岩の原ブドウ園、酒蔵等を回るコース、コースにコッペル号もその中に入っているわけで、その時にはホジ3に乗りたいという要望がございまして、お宝をのこす会では困っているわけですが。それではどうしたら良いかということなのですが、レールの急なカーブを緩やかにすればそれが解決するわけですが、それには色々とお金がかかるということになるわけでございます。枕木も10年以上過ぎていますので、相当腐食していますし、カーブを調整することによって北越急行の後援会のみなさんとか新潟のほうのマニアの方、最近手伝いに来ておられますが、新潟大学鉄道研究会の皆さんが土日になりますと、こちらの方に来て、何とか仕事をさせていただきたいという形で来られております。それがイベントの時に私たち非常に助かっております。何とかホジ3を走らせる、走らせるためにレールのカーブを緩やかにして、枕木も交換しなければならいと。何とかBC92だけではなくホジ3も走られるような状態にしたいというお願いでございます。よろしく願いいたします。

【井部会長】

ありがとうございました。それでは提案に対して質問のある委員の方の発言を求めます。

【高木委員】

昨年も照明設備でプレゼンしましたね。今年は事業の提案件数がたくさんあるのですが、ここの中で削れるとしたらどこでしょうか。

【提案団体】

削れるとすれば、レールを直さなければホジ3が50mくらいしか走れない、カーブの所に来たらそこから先へ走れないので、削ることは不可能でございます。出来れば私たちが要望した金額がほしいのでございます。削るとなると出来ません。たとえば、枕木だけ買っても駄目ですし、レールだけ直しても駄目です。セットのものですから難しいと思います。

【井部会長】

他にございますか。

【春日委員】

これも何回か支援されてここまで来て、皆さんから観光面も色々含めて見ていただいたというお話も聞いております。頸城自動車さんの考え方としましては、一応頸城自動車さんの所有物でもあるという面からして、補修程度はオーナーの方がタッチしませんという問題ではないと思います。先ほど観光の話もされていましたが、いずれは自分の所の視野で環境にも結び付けていくという教育というか、そのような精神も持っていただいて、ある程度、頸城自動車さんからの負担も考えていただければと思っています。

【提案団体】

頸城自動車さんは、自分たちの儲けになることはやりますけれども、私たちにお金を出すことは一切ございません。市から助成金をいただいているので、余分なお金は一切出せませんと言われます。

【井部会長】

他にございませんか。

【小田委員】

次年度以降の活動見通しのところで、今後とも年次計画により枕木の取り替え更新をはじめとして、と書いてありますけれども、枕木の更新は、今回やるとしても更にかなりの量が残っているということですか。

【提案団体】

機関庫の中も昔の古い土台でやっておりますので、機関庫の中の枕木は殆どみな腐っています。腐ってきますと幅が広がり脱線の恐れがあります。そういうところを点検しながら動かしています。

【井部会長】

他によろしいですか。無いようであります。NPO法人くびきのお宝のこす会の皆さん、大変お疲れさまでした。ご退席ください。

引き続き、プレゼンテーション19番目、教育・文化・スポーツ活動の振興等として提案された絆を育む・まちの活性化支援事業について審査を開始します。資料は20番になります。今回初めての提案となります。なお、上吉町内会としては2回目の提案であります。

絆を育む・まちづくり活性化支援事業の審査から辞退される委員の方はご退席をお願いします。

上吉町内会の皆さん、事業の概要や共通審査項目の中で、特に重要視した点等について7分以内で発表をお願いします。

【提案団体】

初めに、町内会の沿革を分かりやすくするために表にしてみました。23年前32戸の集落、21年前80戸の集落、15年前120戸の集落、13年前182戸の町内会となっています。8年前上吉町内会の法人化に伴いまして、体育・文化活動を通じてカラオケ大会・運動会等の活性化を図ってまいりました。次に事業の目的および期待する効果については表題の通り、絆を育む・まちの活性化支援であります。どういふ話かといいますと、当時30戸から現在190戸、今名前と顔が一致しない他人行儀となりつつある課題があります。近年カラオケ大会ではマジックショー・寸劇等を取り入れて、出来るだけ活性化を図っていきたく取り入れてきました。ところが、ワイアレスマイク1個であったためにマジックショーは両手を使えないというようなことで、出場してくれた人には申し訳ないと思っています。寸劇は、出演者からワイアレスマイクの要望が出されております。タイピン型マイクとヘッドセット型マイクがどうしても必要と考えて、この提案をいたすところであります。

次に、予算計画書を見ていただきたいと思います。支出の部ですが、ワイヤレススピーカーCD付き1台、ワイヤレススピーカーCDなし1台、これらは今メーカ

一では3本を繋げるものは全く無いのです。そこで、増設用ワイヤレスユニットを2つずつ突っ込んで、3個3個にして計6個、タイピンマイク6個、ヘッドセットマイク2個ということで、ヘッドセットが良いのか、タイピンが良いのか、こういうものを多いに利用して活動しようという内容であります。

次に、事業の目的および期待する効果ですが、地域全体で支えあい機運を盛り上げることができ、面白いもの印象に残るもの、参加したくなるものとなり、絆を育む・まちの活性化事業になると考えています。次に、採択方針との整合ですが、体育・文化面から住み続けたいまちづくりを目指すもので、教育・文化・スポーツ活動の振興事業に合致すると考えております。また、エアロビクス・エクササイズ的な出し物を住民自ら披露することにより、健康福祉の充実に繋がっていき、採択方針に沿うものと思います。さらに、住民同士が主体的に密接になることにより、安全安心なまちづくりに寄与し、採択方針に沿うものと考えております。事業の内容及び実施方法については、昨年度まで実施した内容を書いておりまして、実現性100%というところであります。カラオケ大会は8月23日、運動会は10月5日と日程まで決まっております。次に、事業の実施期間及びスケジュールは記述のとおりであります。審査方針との整合について検討してみますと、公益性、すべての住民が参加する、実現性、今やっけてきている、参加性、住民が参加でやっている、発展性、後ほどどういふことをやりたいかを含めて、これらについては高い評価をいただけるものと思いますが、必要性、ここで皆さんと検討してみたいと、地域の実情や住民要望に対応したものか、こういうものが欲しいと要望で上がってきたものであります。地域の問題解決、活力向上に有効な取組であるか、課題解決するために自ら進んで出るといふことに取組めば、正しく問題解決に有効であると考えております。ところが、他の方法で代替できないかという項目については、上越市内2か所レンタル出来ないか聞いたところ、精密機器につき貸し出せないということでした。問題点は、緊急性の高い提案事業であるかということですが、私どもは10年経てば人が変わってしまいます。自らまちを自分たちで創るのだという、風土を一刻も早く創りたいということから緊急性ありと考えております。

今回、採択していただければ、各町内の方々から出席していただきながら、ダンスとかカラオケ以外のものを含めて、寸劇等進めて行きたいと考えております。基本的にマイクのほうの管理は上吉町内会で行いたいと思いますが、各町内の方々の

ご依頼があれば活用していただきたいと思います。以上でございます。

【井部会長】

ありがとうございました。それでは提案に対して質問のある委員の方の発言を求めます。ございませんか。無いようであります。以上で終わります。上吉町内会の皆さんお疲れ様でございました。ご退席をお願いします。

次に、プレゼンテーション20番目です。地域の防災を高める活動として提案された、頸城区の地域防災力向上事業についての審査を開始します。資料は21番目になります。初めての提案であります。

頸城区の地域防災力向上事業の審査から辞退される委員の方は退席をお願いします。(高橋副会長辞退)

それでは、頸城区防災士会の皆さん、事業の概要や共通審査項目の中で、特に重要視した点等について7分以内で発表をお願いします。

【提案団体】

この防災士会は昨年発足したばかりの団体になります。防災士は上越市内に於いては、500名の防災士が誕生しております。これは5年を掛けて500名誕生しました。この頸城区内では28名の防災士が各地区に誕生しております。この28名で頸城区防災士会を立ち上げた次第であります。設立の目的は、自助・共助・公助と言われていますが、自助・共助の部分をきちんとしていきたい。いざ災害の時は自助・共助を主にやっつけよう。防災士の資格を有する者が互いに連携をとる。新たな知識や技術の習得に努め、継続的な活動を行うことにより、頸城区の防災力の向上並びに防災意識の高揚を図ることを目的としております。事業に期待する効果ですが、区内の防災士が連携して、技術の取得に努めること。統一したベスト・ヘルメットを着用することにより、災害発生時や自主防災組織の防災訓練時にこれを着用して、防災士の存在を地域住民からも分かってもらうことから、地域の防災力の向上と防災意識の高揚が図れるものと思います。また、防災士自身にも責任の自覚を促すということに繋がるのではないかと考えております。事業内容としては、頸城区採択方針の地域の安全を図る活動に該当するものと考えて、今回提案させていただきました。また、今年度は頸城区の大きな防災訓練が予定されています。防災士だけではなく町内会長協議会、消防団頸城方面隊、行政、様々な団体さんと協力しながら、頸城区の防災訓練、我々頸城区防災士会としても協力して防災訓練に

努めたいと思っている次第であります。どうぞよろしくお願いいたします。以上で終わります。

【井部会長】

ありがとうございました。それでは提案に対して質問のある委員の方の発言を求めます。

【佐野委員】

イメージが分かりづらかったので確認させていただきたいのです。地元の事例で自主防災組織がすでに設立されていますが、その構成員の中から適任者を適宜選んで、2, 3人防災士を組織でお金を出して防災士の資格を取ってもらっています。たとえば、訓練、実際の災害の時もそうですが、その人たちにも当然組織の構成員としても活動を期待しているところではありますが、その他に講習会等は防災士としての力量を発揮していただくべく場を設けたりする場合がありますけれども、いずれにいたしましても、そういう中でヘルメットとか腕章とか、自主防災組織で既に揃えています。それとは別に防災士としてやるということは、ヘルメットだけで考えると2つ用意するということになるのでしょうか。そこら辺の区分けがどういうふうになるのか分からないのですが。外部の防災士の方が自主防災組織で何かをやる場合にお力添えをいただけるという格好で考えておられるのか不明確です。現在28名という計画ですが、増えると思うのですがその後のことは考えていないのでしょうか、それとも同じような格好で考えられるのでしょうか。提案事業に載せるということに関しまして。簡単をお願いします。

【提案団体】

質問は2点でよろしいでしょうか。ヘルメットのことで、防災組織、頸城区には防災組織がたくさんありますが、その中で防災士さん28名おられますが、防災士すべてに各地域の自主防災組織で配布してあるのかどうか確認しておりません。こちらの委員さんの組織においてはどうなっているかわかりませんが、防災士専用のものを着用したいと思っております。また、各地区の自主防災組織におかれては、防災士さん2つ持つようになると今言われましたが、もしそうであれば1つは、地域の方々の誰か持っていない方に渡していただくのがいいのではないかと考えています。二つ目、28名から増えるのではないかとということですが、上越市では一旦500名で、これ以上の増員は無いようです。今後は防災士の高齢化等で会員が

少なくなった時にどうなるのかは、上越市の考え方があると思います。

【井部会長】

時間は5分ですので、委員の方は心得して質問してください。

【佐野委員】

質問が不明確でした。我々としては、組織の一員としての活躍を期待している気持があるわけです。それを外して防災士ということに若干違和感があることを申し上げたのです。お応えできなければそれは結構ですが。

【提案団体】

各自主防災組織の中で、防災士の位置付はどのようになっているのかですよね。たぶん組織図があると思うのですが。本部長がおられて、副本部長がおられて、防災士がどこに入ってきているのかというところです。

【井部会長】

時間になりました。以上でプレゼンテーション20番目を終わります。頸城区防災士会の皆さん大変お疲れさまでした。ご退席をお願いします。

次に、21番目に入ります。地域特性を活かしたまちづくり等として提案された、坂口記念館を拠点とした「くびきの地力」活性化推進事業について審査を開始します。資料は22番目になります。今回初めての提案となります。

坂口記念館を拠点とした「くびきの地力」活性化推進事業の審査から辞退される委員の方は退席をお願いします。(笠原委員辞退)

特定非営利法人くびき来夢ネットの皆さん、事業の概要や共通審査項目の中で、特に重要視した点等について7分以内で発表をお願いします。

【提案団体】

今回、地域活動支援事業の活動をさせていただき、まちを元気に活力あふれる頸城区を目指す意味で応募させていただきました。来夢ネットの団体の設立目的ですが、地域・農産物・農産加工品による地産地消の普及活動を通して、食と農の関係に生産者と消費者の相互に信頼と共生を構築することを目的としている組織でございます。事業の目的と期待する効果ですが、4月1日から椿祭りということでイベントを組ませていただきました。県内外から入館者が多く、上越市頸城区でこんな素晴らしい建物と偉大な先生がおられたことに驚いていました。椿祭りを新聞やマスコミ等で取り上げていただき、信濃毎日・日報・読売・朝日の新聞社、新幹線

絡みの石川テレビも来ていただきました。マスコミに取り上げていただいて、この期間中に1,043人の入館者がありました。皆さまにも椿御膳とか、そうしたところで来館していただけるのですが、坂口記念館の事業、坂口謹一郎先生の偉大さをまだまだ知られていません。来てみて初めてこんな素晴らしい方が頸城区にいらっしやっただ、建物の素晴らしさ楽縫庵ですが150年以上経っている古民家に来ていただいて、こんな素晴らしいものがあつたということにご理解をいただいております。来られた方もまた仲間を連れてきたいという意見等もいただいております。

特に上越市は、発酵のまちということで先生の研究成果などに取り組んでいるわけですがけれども、坂口記念館として年間を通して各種講座・イベント等の開催により、もっと多くの人から来ていただきたいことが目的でありますし、先生の偉大さをもっと知っていただきたいということでもあります。事業内容としましては、青少年健全育成社会教育の推進のほか、坂口記念館の頸城区の情報を発信する場として、まちづくりの推進を図りたいと考え取り組むものであり、頸城区の採択方針のそれぞれの項目に該当するということでもあります。坂口謹一郎先生の記念館を主な拠点といたしまして、色んな各教室、坂口記念館を応援していただくサポートの会なども、計画段階でございますけれども立ち上げて、常日頃から記念館に御支援いただける体制作りをしたいと思っております。イベント教室としまして、写真教室、自分の持っているカメラで坂口記念館の椿の花や、頸城の大池の自然のものとか、市民カメラマンによる撮り方の教室を行っています。今後も引き続き行う予定です。そば道場、頸城にも玄僧のそばを含めて色んなそばがありますので、体験を通しながら坂口記念館で食していただくという場を作ったり、子どもたちの茶道講習会を行って、知っているようで知らないマナー、きちんとした作法を子どもたちに教えながら、何回かする中で父母たちに来ていただいて、そういうものを披露したり、ガーデニング教室、女性中心ですが、そうめん流しも8月に毎年やっております。麴づくり・味噌づくりの講習、先生の研究されたことも含めて発酵のまちでありますので、そうしたものを計画しております。今後催し物を通じて、色んな団体等活動しながらより活性化づくり、まちづくりに持っていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

【井部会長】

ありがとうございました。それでは提案に対して質問のある委員の方の発言を求

めます。

【佐野委員】

(8)の支出の部で、カラープリンターとか紙もそうですが、インク代が出ていますが、前回のくびき振興会の提案でカラー印刷機という提案がございましたが、それはどうなるかまだ分かりませんが、もし採用されるということであればそこら辺の費用は大幅に削減されるという形になるのでしょうか。それともたいして変わらない格好になるのでしょうか。

【提案団体】

限られた予算の中でそうしたものがあるとなれば、最低限必要なことも含めて、情報の発信というのは本当に今の時代に必要で、情報を発信するために自分たちに今そういうものがないもので、その中で活用しながら発信して来ていただくという方法になりますし、見直すということも考えていってもいいかなと思っています。

【井部会長】

他にございますか。

【小田委員】

7番に事前協議と書いてありまして、協議先は文化振興課だと思いますけれども、文化振興課とはどんな話をされましたでしょうか。

【提案団体】

年間を通して、この間も打合せを行って、今後上越市として1,000の施設の見直しということも含めて非常に厳しいと、そうした中で今後あるものを発信しながら行くにはどうしたらいいかということも含めて、打合せしているところでございます。具体的にはまだ、予算を通していただければ突っ込んだ方向に向かえるわけですが、そうした話し合いは何回かやっております。

【井部会長】

よろしいですか。他ございますか。無いようであります。以上でプレゼンテーションを終わります。特定非営利法人来夢ネットの皆さん大変お疲れさまでした。ご退席願います。

次に、プレゼンテーション22番目に入ります。安全安心なまちづくりとして提案された、舟津・森下町内会自主防災組織整備促進事業についての審査を開始します。資料は9番目になります。今回初めての提案となります。

舟津・森下町内会自主防災組織整備促進事業の審査から辞退される委員の方は退席をお願いします。

舟津・森下町内会自主防災組織の皆さん、事業の概要や共通審査項目の中で、特に重要視した点等について7分以内で発表をお願いします。

【提案団体】

事業の名称でございますが、舟津・森下町内会自主防災組織整備促進事業であります。団体等の設立目的については、2町内会の住民の相互協力の精神に基づく自主防災活動を行うことにより、災害による被害の防止及び軽減を図るという事でございます。活動分野については、地域の安全を図る活動でございます。設立年月日は、平成23年4月設立ということで、他の町内会から見るとかなり遅れて設立させていただきました。構成員数は87人で平成26年1月1日現在でございます。直近の会計収支決算はございません。

事業の概要でございますが、対象自治区は頸城区、事業主体は舟津・森下町内会自主防災組織でございます。総事業費が87万円となっておりますが、実際は端数が出ておまして87万1千円と訂正をお願いいたします。補助金希望額が87万円です。次に、事業の目的および期待する効果でございます。災害に伴う避難時に備え、備品等を整備することにより、2町内会住民の安全安心に備えるという事でございます。当該町内会には、要援護者の方が居住しているということから、災害時には要援護者を避難させるための備品の整備を行いたいという事でございます。採択の方針等の整合でございますけれども、事業内容は、非常時の整備をしたいと考え事業に取り組むものであり、頸城区採択方針の安全安心なまちづくりの項目に該当するものと考え提案するものであります。事業の内容および実施方法でございますが、事業の対象者は、舟津・森下町内会全住民が対象でございます。事業の実施方法等ですが、舟津町内会館を拠点として下記の事業を実施し、災害時における災害対応に備えるため、防災訓練を実施するという事でございます。実施体制については、舟津・森下町内会自主防災組織が中心となりまして、運営を行いますけれども、多くの地域住民の協力を得て実施するという事です。次に、防災訓練の開催ですが、内容は避難訓練、初期消火、人命救助訓練等でございます。開催日は、年に1、2回程度とし、1回の場合は秋、2回の場合は春と秋に実施するという事で、今年度は1回の秋ということで次年度以降は、春と秋の2回に分けて実施し

たいというふうに考えております。次に、実施期間及び実施スケジュールでございますが、平成26年8月から11月まで、8月に備品の購入をさせていただきました、10月に開催案内の周知をし、11月に防災訓練の実施をしたいと考えております。次に、次年度の活動の見通しにつきましては、防災訓練は毎年繰返し行うことが必要との考えから、次年度以降も実施したいということで、今後は炊出し等も取り入れるよう検討したいと考えております。事前協議につきましては、必要性はなしと考えております。

事業の収支計画等でございますが、収入の部の費目につきましては、地域活動支援事業費補助金87万円、舟津町内会費254円ということで、合計87万254円であります。支出の部ですが、防災備品で870,254円ということで、説明欄に全20項目ございます。この内容につきましては、近隣の町内の自主防災組織を参考にさせていただいたということで、昨年実施しました防災訓練の時に地域住民の方から強い要望がありまして、今回提出させていただいた次第であります。よろしく願いいたします。

【井部会長】

ありがとうございました。それでは提案に対して質問のある委員の方の発言を求めます。

【佐野委員】

自主防災ということで、上越市には自主防災組織等の活動育成事業という補助金制度があると思いますが、各町内そこら辺のところでは採用されたところが多かったのではないかと思います。金額の大小あるかもしれませんが、ご検討される余地がなかったのでしょうか。それとも何か障害があつて駄目だったということだったのでしょうか。

【提案団体】

中越沖地震時の県の基金を利用して自主防災組織を立ち上げた皆さんは、上限額が高く、色々整備されたと聞いています。市の事業については、承知をしています。上限45万円に対して3分の2の補助制度です。私ども両町内会合わせて年間予算が119万円と少ない中で、どうしても費用が出せないということで地域活動支援事業に提案させていただきました。

【井部会長】

よろしいですか。他にありますか。ないようであります。

以上でプレゼンテーションを終わります。舟津・森下町内会自主防災組織の皆さん大変お疲れさまでした。御退席願います。

以上を待ちまして、提案団体からの前回と今回に引き続いたプレゼンテーションを終了といたします。

引き続いて報告事項に入ります。報告事項の議題に入る前に上越市自治・市民環境部、自治地域振興課連携調整室の副室長並びに主管課長がご挨拶をしたいということでみえております。挨拶を受けたいと思います。

- 連携調整室 三浦副室長 挨拶 —
- 都市整備課 佐藤副課長 挨拶 —
- 農業振興課 佐藤課長 挨拶 —
- 産業振興課 米持課長 挨拶 —

【井部会長】

それでは、報告事項に入ります。最初に、新クリーンセンターの建設について説明をお願いします。

【川上副課長】

お疲れ様でございます。生活環境課からまいりました施設整備の担当をしております川上でございます。よろしく願いいたします。新しいクリーンセンター整備事業の説明をさせていただきます。

- 資料2により説明 —

【井部会長】

只今、説明がありました。ご質問を受けたいと思いますが、これから具体的になれば何回か皆さんに報告がございますので、今日あったとしても1、2点ですがありますか。

【西條委員】

3番目のクリーンセンターということで、既設のものはそのまま使うということですか。発電をされるということに注目したのですが、外で見る図面だけではどこで発電するのかなということなのですが、工場棟の中で同時に発電するわけですか。

【川上副課長】

全体配置図をご覧ください。今現在稼働しています第2クリーンセンターの西側の

隣接地、今現在更地になっているところであります。ここに新クリーンセンターを建設する予定としております。出来たあかつきには第1・第2クリーンセンターを撤去いたします。除却いたします。発電施設につきましては、工場棟の中に発電施設を納める予定にしております。そして、発電した電気を敷地の使い方にもよりますが、全体配置図の右下のところに鉄塔棟がわずかに見えます。そこから外部に対して送電していくという予定にしております。発電は工場棟の中、送電は東の端からという予定にしています。

【井部会長】

よろしいですか。他にありますか。無いようでありますので以上で、新クリーンセンターの建設について終わります。ありがとうございました。

次に、その他に入ります。2014えちご・くびき野100kmマラソン開催概要について説明してください。

【篠原G長】

— 資料3により説明 —

【井部会長】

ありがとうございました。次に、市指定避難所について説明してください。

【渡邊班長】

— 資料4により説明 —

【井部会長】

説明がございました。ご質問がございましたらご発言いただきたいと思います。

【小田委員】

見直し前、見直し後ということではなくて、かつて保倉川の水害の時に、南川地区では指定避難所に相当する南川小学校に行った人たちに対して、更に頸城中学校に移動しろという指示があつて動きました。そういう二段階に移動したケースがあるのです。その辺は、資料のどこにも書かれていないので、どうなっているのか教えていただきたい。

【関次長】

南川地区ですと、南川小学校を指定避難所にするという形で計画しているもので、当然大規模な災害が発生する恐れがあつて、南川小学校では危ないという状況であれば、たとえば大瀧地区はB&G海洋センターが指定避難所でなくてもB&G海洋セン

ターや大瀧小学校も急遽避難所として、避難してもらうという、当然やらなければいけないことですので、南川小学校しか書いてないから其処だけを使うということではございません。災害の状況によっては、現実的な対応をしなければいけないと思っています。

【高橋副会長】

今までの災害時要援護者登録申請書の中に、予定避難所1、2という記入欄があります。災害時要援護者と民生委員との間で決められているので、たとえば上吉町内会の場合は、1. 南川小学校、その次は南川分館とか希望場所を書くような欄になっているのですが、今回これが決まったならば、そこら辺も含めて見直しをしたほうが良いと思いますので、よろしく願いいたします。

【井部会長】

他にありますか。無ければ、指定避難所の見直しについて以上で終わります。

以上をもちまして、本日予定しておりました協議事項等については、すべて終了いたしました。委員の皆さん全体を通じて何かございますか。無ければ、これで第2回地域協議会を閉会といたします。大変ご苦労さまでした。

午後8時閉会

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL025-530-2311 (内線 212)

E-mail : kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。